

# 東大和市学校給食センター運営委員会令和5年度第1回専門部会

日時 令和5年10月24日（火）  
午後2時～  
場所 東大和市学校給食センター会議室

## 1 東大和市の学校給食内容について

### (1) 学校給食の現状

当市の学校給食費は、一食単価で比較した場合、小学校低学年は多摩26市中高い順で26番目と最も低い金額となっており、中学年と高学年は26市中25番目、中学生は26市中24番目と低い金額となっております。

こうした中で近年の気候変動により、野菜の価格が急激に高騰することが多発しております。さらに、新型コロナウイルス感染症などの影響による物価の高騰により、以下のような工夫を行い、学校給食の提供を行っていました。

#### 【物価上昇に対応する工夫】

- ・食材の選定において、東大和市の物資選定基準を満たしている最低価格の品を主に選定する。
- ・野菜は、比較的安価な品を中心に使用する。（たまねぎ、にんじん、もやしなど）
- ・旬の果物は、安価な品を中心に使用し、提供回数を調整している。
- ・精肉は、価格の安い鶏むね肉やひき肉の使用回数を増やすことで、たんぱく源を確保している。

こうした工夫に対して、安価な食材を多用しているため、使用できる食材の種類が少なく、見た目の彩りに欠ける。特徴的な食材を使用する行事食、郷土料理、世界の料理は取り入れにくいといった課題があり、国産のものを使用したくても、やむを得ず外国産のものを選択する場合もありました。

また、豚肉や果物、緑黄色野菜の提供回数が減少し、ビタミンの摂取量の確保が難しいなど栄養摂取の面でも課題がありました。

## (2) 助成金交付による効果

学校給食の食材料費は、児童・生徒の保護者の皆様からいただく学校給食費で賄っていますが、食材料の価格高騰により、学校給食費だけでの運営が困難となっています。このため、国から交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、東大和市から学校給食会計に「学校給食食材料費高騰対応助成金」を交付することにより、以下のような効果が出ています。

### 【助成金交付による効果】

#### ・多種多様な食材の使用

選択できる食材の種類が広がり、彩りの良い食材を使用しやすくなり、見た目の改善、児童・生徒の味覚の発達や食への興味・関心につながる様な献立を作成することができます。

また、伝統的な食文化についての理解を深めることができる様に、行事食、郷土料理や世界の料理を献立に取り入れています。

#### ・児童生徒の成長に必要な栄養価の維持

文部科学省が定めていた「学校給食の標準食品構成」に基づき、多様な食品を適切に組み合わせ、「学校給食摂取基準」で定められた必要な栄養摂取量を確保できるように献立作成に取り組んでいます。

#### ・国産品を基本とする食材の調達及び地場産食材活用の推進

安全安心な食材の調達という側面から国産食材の使用を拡大できます。また、地場産食材活用の推進として、生鮮品では収穫日のズレなどから使用できる量に限界があり、加工食品への活用など幅広い活用が可能となっています。

## (3) 学校給食の食材料費の状況

学校給食の食材料費について見た場合に、同じ献立を提供した場合の令和3年10月時点と令和5年4月時点の1食あたりの食材料費を例示すると、別紙のようになります。

また、助成金がない場合の献立がどのようになるかの一例もあわせて掲載しております。

## 2 東大和市の学校給食費について

### (1) 食材料費高騰への対応

前述のとおり、学校給食の食材料費は、児童・生徒の保護者の皆様からいただく学校給食費で賄っていますが、食材料の価格高騰により、学校給食費だけでの運営が困難となったため、国から交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、令和4年度と令和5年度に東大和市から学校給食会計に「学校給食食材料費高騰対応助成金」を交付することで、学校給食の質を維持しつつ、保護者の皆様の新たな負担を増やさない取組みを実施しているところです。

この助成金額の基礎となる食材料費の高騰分は、令和3年度の食材料の使用実績を基に、同じ量の同じ食材を使用すると仮定して次の表のように算出しています。

(増加率以外の単位：円)

品目	令和3年度 使用実績	令和4年度		令和5年度	
		高騰分の額	増加率	高騰分の額	増加率
生鮮食料品	112,883,361	16,488,872	14.61%	32,171,758	28.50%
パン	17,547,191	954,567	5.44%	1,491,511	8.50%
牛乳	68,896,081	1,191,902	1.73%	7,172,082	10.41%
米類	13,709,985	0	0.00%	4,158,238	30.33%
その他	98,447,142	3,878,817	3.94%	14,471,730	14.70%
合計	311,483,760	22,514,159	7.15%	59,465,319	19.08%

※増加率は、各年度の高騰分の額の令和3年度使用実績と比較した場合の割合です。

この高騰分の額を基礎として、令和4年度は22,515,000円、令和5年度は48,788,000円の助成金を東大和市から学校給食会計に交付しています。

### (2) 助成金交付後の1食あたりの食材料費

令和5年度の、助成金交付後の1食あたりの食材料費は次の表のとおりです。

(単位：円)

		1食あたり単価			月 額		
		基準額	助成金 相当額	合 計	基準額	助成金 相当額	合 計
小学生	1年生	210	40	250	3,560	670	4,230
	2年生	210	40	250	3,670	700	4,370
	中学年	226	43	269	3,950	750	4,700
	高学年	245	46	291	4,280	800	5,080
中学生		272	51	323	4,580	860	5,440

なお、前述の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は保護者負担の軽減が目的ですので、教職員と学校給食センターに勤務する職員は自己負担となっています。

### 3 今後のスケジュールについて

日 程	会議名	内容案
11月 7日 (火)	第2回 専門部会	諮問の審議
11月21日 (火)	第3回 専門部会	答申原案の審議
11月28日 (火)	第2回 運営委員会	1 部会報告 2 答申案の審議
(参考) 12月22日 (金)	令和5年第10回 教育委員会定例会	答申 ※運営委員会委員の 出席は必要ありません。